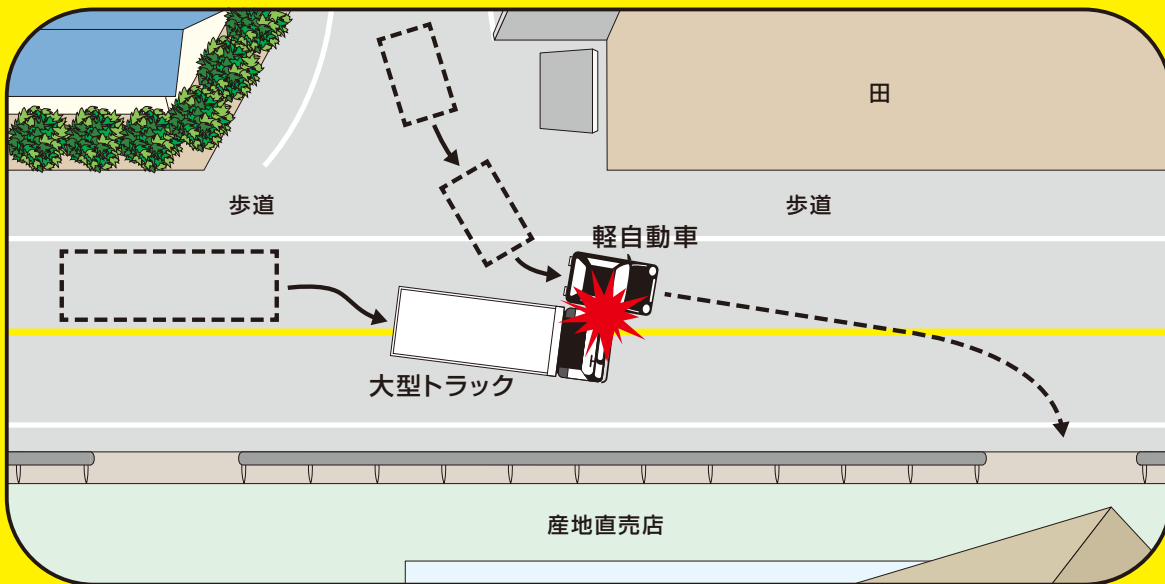


相手の動きは二段階あった! ～左折進入の後に、右折で路外!波状的に来る危険を回避～



YONKOKYO

事故事例ニュース

第271号

四国交通共済協同組合
安全対策部
坂出市番の州公園6番6号
(安全対策部直通)
0877-85-7992
電話0877-44-4416代

どのような場所か…

片側1車線で中央線は黄色の実線の直線国道。左に会社出入口、右に産地直売店の出入口。

どのような事故か…

大型トラックと軽自動車の接触事故。

軽自動車：会社より左折で国道へ進入後、低速で中央車線へ寄り、右折で産地直売店へ進入しようとした。

大型トラック：軽自動車の左折進入と同時にブレーキをかけ、右にハンドルを切った。

原因は……

軽自動車：国道進入時における、大型トラックの速度及び距離判断の失敗。

大型トラック：軽自動車の道路進入時の早期発見と動静注視不足。

この事故を防ぐためには…

道路進入車両の早期発見と店舗出入口付近では危険な運転動作をするドライバーが多い事を認識しながら走行する。

路外から進入する自動車は、進入のタイミングを見計らっています。

相手車を早期発見し危険予知を行っていれば回避動作も早くできたのではないのでしょうか。

また、店舗出入口付近では、店舗内に入る事への意識が集中し、場合によっては空いている駐車場を探しながら運転している事もあります。

店舗出入口付近の低速車はさらに警戒した動静注視をお願いします。



《事故防止上の注意点》

住宅街や店舗付近では更なる注意が求められます!

- 住宅街や店舗付近は人の往来や出入りが頻繁なのでより注意した運転が求められます。
- 路外出入り車両の早期発見で、危険へ対応できる行動に幅ができます。
- 路外出入り車両は加速・減速、ランダム運転が頻繁に起こります。

事故防止理想論から現実へ